

参加費
無料

エンジニアとAIが 共存する世界、 AIがエンジニアに 置き換わる世界

2025年

8/26 TUE

15:00-16:30

進化するAIと 私たちの仕事の未来

AIの進化は驚異的なスピードで進み、数年前には「AIには無理だ」と言われていた課題すら解決できるようになりました。今や私たちの開発現場にもAIは深く入り込み、日常業務の一部として当たり前利用され始めています。

とりわけソフトウェア／システム開発の領域では、その影響が顕著です。従来は“コード補完”が限界だったAIが、いまや要件整理・設計・実装・単体テストを一気通貫でこなすエージェントへと進化し、規模の小さなタスク（チケット）であれば人の手を介さず完結できる事例も登場しています。

日々進化するAIの性能や応用例を目の当たりにし、私たちの業務は今後どのように変わっていくのでしょうか。いまはエンジニアとAIが共存し始めた時期だと思いますが、将来はAIがエンジニアの仕事を置き換えるようになるかもしれません。

この変化は、これまで常識とされてきた開発プロセスやスキルセット、収益構造といった事業の前提が、今後揺らぎうる状況にあることを示唆しています。

とくにソフトウェア／システム開発を主要な収益源としてきた事業者にとっては、AIとの向き合い方が、事業の将来を左右する重要な判断軸になりつつあります。

今回のセミナーでは、いまのAIができることを振り返りながら、私たちの仕事の未来について考えていきたいと思います。

場所

テクノアークしまね 大会議室

(島根県松江市北陵町1番地)

対象

島根県内IT企業経営者
事業統括責任者

内容

1. システム開発の進化と生成AI
2. 生成AIの進化で業務はどう変わっていくのか
3. BIPROGYグループの取り組み

申込方法

二次元コードから
申込フォームを入力
8/22(金) 17:00まで



田中 要

BIPROGY株式会社
プロダクトサービス本部 本部長



BIPROGY(旧日本ユニシス)入社後、Webアプリケーション開発のサポートを担当。

その後、BIPROGYでは最初期のSaaSとしてeラーニングサービスの企画・開発・運用全体をリード。SaaSビジネス、プロダクトマネジメント、アジャイル開発の経験・学びを得る。

この経験をもとに、社内でのアジャイルの理解促進と実践力強化に取り組み、Agile Transformation (AX) Labサービスを開始。

SaaSビジネスの成長に貢献するため、チーム・インフラ・制度の面でカイゼン・拡大に取り組む。

<主催>公益財団法人しまね産業振興財団
しまねソフト研究開発センター (ITOC)
<共催>島根県
<後援>一般社団法人島根県情報産業協会

お問い合わせ先

しまねソフト研究開発センター 担当：安部・安食

TEL：0852-61-2225 Mail：itoc@s-itoc.jp

